

ASC 文法カフェ

長谷川 信子 (ASC・顧問)

第4回(7月4日)では、「**複文—副詞節、名詞節、形容詞節(関係節)**」を扱います。

複文は、主節と従属節を持つ文です。従属節には、次の3つのタイプがあります。

- (A) **名詞節**——目的語や主語が節。
- (B) **副詞節**——副詞的要素(時、条件、理由、場所など)が節。
- (C) **形容詞節**——名詞を修飾する要素(つまり、形容詞的な要素)が節。関係節、関係副詞節のこと。

以下の [. . .] が従属節です。どれが、どのタイプに分かりますか? どうしてそう判断しましたか?

- a. They told me [that they can speak French].
- b. [That the national soccer team of Japan will go to the final tournament] made Japanese people delighted.
- c. I brush my teeth [after I eat breakfast].
- d. Can I drive a car in foreign countries [if I have an international license] ?
- e. My brother saves money [because he will go to a university in England next year]
- f. They asked the teacher [what they should study for the exam].
- g. I am glad [that the exam [that I took this morning] was not very difficult].
- h. The bag [I had bought in Paris] was not very expensive.
- i. She lives in the city [in which her father lived [when he was a student]].
- j. We should solve the problem [that have been causing a big trouble].
- k. I will buy [what you will recommend].
- l. I do not know [what the teacher will recommend].
- m. [Whatever you say], I will believe you.
- n. The plane took off so smoothly [that I did not notice [it took off]].

上記の多くの従属節に、従属節をマークする要素が節の頭に使われています。because や after などの接続詞は分かりやすいですね。また、that は様々な所で使われます。どの that がどのタイプの従属節に使われるのか、分かりますか? そして、wh 語も重要な「従属節マーカ―」で、間接疑問文、関係節、関係副詞、副詞節として使われます。どの wh 語がどの従属節をマークするのか、どうして、wh 要素が使われるのか、考えたことがあるでしょうか? そこには、wh 語が持つ特有の特徴・規則があります。それも考えてみましょう。

日常会話や口頭のコミュニケーションでは、単語や文の断片でも、相手と確認が取れるなら通じることも多いでしょう。しかし、「大人としての英語」「仕事など知的な会話」「書き物」「読解」では、従属節の理解と使用は避けて通れません。今回は、「何となく」ではなく「明確で正確な」英語に向けて、まとめて復習しましょう。

今学期最後の第5回(7月18日)では、準動詞(不定詞、動名詞、分詞)を扱いますが、従属節を理解しておく、その理解にも役立ちますよ。